

## 住宅新築資金等貸付金債権管理システム仕様書

### 1. 目的

玉名市住宅新築資金等償還業務を効率的に管理するシステムを構築すること

### 2. システム要件

- (1) ユーザを ID およびパスワードにより利用制限することができること
- (2) ログインユーザ・ログイン時間・ログオフ時間・ログイン端末のアクセスログを管理できること
- (3) 貸付額・年利率・償還回数・償還方法を条件に償還表を作成し、償還計画のシミュレーション・貸付の登録ができること。
- (4) 債務者・連帯保証人・保証人・相続人の氏名・住所などの情報を管理できること
- (5) 抵当権登録・修正・削除ができること
- (6) 質権の登録・修正・削除ができること
- (7) 個別の調定の登録・調定額修正・削除ができること
- (8) 猶予期間を指定し、納付月をずらすことができること
- (9) 貸付に対する備考・個人に対する備考が登録できること
- (10) 貸付・日付単位で、債務者等との催告書送付・訪問履歴・交渉内容等の対応記録が管理できること
- (11) 一部繰上は、指定月・繰上回数・繰上金額の条件から、シミュレーションできること
- (12) 一部繰上・一括繰上調定変更処理を誤った場合、調定変更前の償還表に復元できること
- (13) カナ氏名(債務者・契約者・連帯保証人・債務継承者・相続人)から、貸付の検索ができること
- (14) 指定月までの、未納額が照会できること
- (15) 過去 5 年間の入金額が月単位で照会できること
- (16) 直近 1 年間の入金状況が照会できること
- (17) 複数債権の有無が、容易に照会・把握できること
- (18) 償還額・残額・滞納額・収納額・最新収納日が照会できること
- (19) 個人の照画面は、個人が関係している貸付番号・債務関係人名が表示できること
- (20) 期間指定・金額指定(分納)・(一部)繰上納付書が出力できること
- (21) 現年度納付書・過年度分納納付書について、年度当初に 12 ヶ月分一括で発行できること
- (22) 金額・枚数指定にて、納付書が発行できること
- (23) 貸付単位で、納付書・口座振替の請求を止めることができること
- (24) 債務者以外の債務関係人に、請求先を設定できること
- (25) 通知書のタイトル・サブタイトル・文言の変更ができること
- (26) バーコードを読み取り収納処理が行えること
- (27) 分納・(一部)繰上の収納処理が行えること
- (28) 金額指定により、収納処理が行えること(金額指定の場合は、最古の未納月より自動的に充当されること)
- (29) 収納の取消(削除)ができること

- (30) 同一貸付内であっても、収納者を変更し収納処理ができること
- (31) 1 収納単位で、納付月・収納金額・収納者・収納年度・現過年度区分が把握できる日計表が出力できること
- (32) 年度単位で、収納額・調定額が把握できる帳票が出力できること
- (33) 残高証明書の発行ができること
- (34) 完済証明書の発行ができること
- (35) 県報告資料（償還状況調書・要因別滞納状況調書・貸付金滞納調書）が出力できること
- (36) 県報告資料は、貸付区分(国・県・自治体単独)毎に出力できること
- (37) 職務代理の設定ができること
- (38) 調定毎に納付期限を設定できること
- (39) 収納毎に領収日、収納日の入力ができること
- (40) 手動による収納作業ができること

### 3. 機器

各業務の事務処理を行う機器として、下記スペックと同等又はそれ以上であること。

OS は Windows 7 Professional SP1 (32bit) とする。

PC スペック CPU : インテル Core i3 プロセッサ以上

メモリ : 4GB 以上

HDD : 500GB 以上

### 4. 作業期間

- (1) 平成 27 年 1 月 30 日までに仮稼働させること
- (2) 既存のシステムを長期間停止することなく作業を実施すること

### 5. システム保守

- (1) 電話・メール・ファックス・リモートによる問い合わせ
- (2) データの不具合等の調査及び修復対応
- (3) アプリケーション及びシステム不具合の原因調査と安定稼働への対応作業
- (4) 電話回線を利用したリモート保守による問い合わせ対応や不具合の修復作業